

令和4年度 茨城県地域就職氷河期世代支援加速化事業 効果検証

(1) 事業概要

就職氷河期世代の正社員化を促進するためには伴走型の支援が必要であることから、地域就職氷河期世代支援加速化交付金を活用し、茨城県が県内6カ所で設置・運営している「いばらき就職支援センター」において、専任の相談員を7名配置し、就職氷河期世代の求職者にキャリアカウンセリングや合同就職面接会などの就職支援サービスを提供することで、正社員就職を支援する。

(2) 効果検証

○交付対象事業の重要業績評価指標（KPI）実績

指標名	令和4年度目標値	令和4年度実績
「いばらき就職支援センター」において就職支援を実施した氷河期世代の者*の正社員就職決定件数（件）	70人	62人

*概ね36～51歳の者。以下同。

○取組について

- ・いばらき就職支援センター（全6カ所）において、就職氷河期世代向けの相談窓口を設けて、相談対応を行った。

令和4年度実績	実利用者数	就職決定者数	うち、正社員就職
全体	3,129人	1,071人	211人
うち、氷河期世代	1,026人	327人	62人

- ・就職氷河期世代等を対象とした合同就職面接会（別紙参照）を9回開催し、地元企業とのマッチングを行った。

実績	回数	参加企業数	参加者数	就職内定者数
令和4年度	9回	166社	221人	12人

○取組効果について

- ・令和4年度の雇用情勢はコロナの影響を脱しつつも、物価高騰に起因する経済の先行き不透明感で、一部産業で採用選考には慎重な様子が見受けられる。
- ・また、求職者の側では、乏しい業務経験や年齢を理由に非正規を志向する動きも根強く、また、行政機関の会計年度任用職員の更新年であり、当該求人への応募を希望する利用者が多くいた。
- ・雇用形態を問わない就職実績では令和3年度より20人多い327人となったが、正社員就職決定件数は、15人減少の62人となってしまった。
- ・引き続き、正社員就職を志す求職者に対して、専任の相談員によるきめ細かな相談対応や面接会の開催数を増やすことにより、正社員など本人が望む産業・職種への就職を支援する。

(3) 公表について

本効果検証等を茨城県ホームページ上で公表する。